

ご挨拶

日本生理人類学会第85回大会

大会長 跡見 友章

日本生理人類学会の会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、6月14日（金）～16日（日）に、日本橋ライフサイエンスビル（6月14日）および杏林大学井の頭キャンパス（6月15日・16日）にて、第85回大会を開催いたします。東京での開催は、2019年6月の第79回大会（高雄元晴大会長）以来となり、第84回大会に引き続き春に对面での開催となります。

本学会の全国大会は、人類学や生理学をはじめ、人間工学やデザイン科学を中心に、近年では医学・保健学の分野とも連携を深めております。第85回大会では多彩な分野の研究者170名ほどが一堂に会して、研究成果の発表が活発に行われる予定です。

第85回大会では、まず初日の6月14日（金曜日）には学会主催の「フロンティアミーティング」が開催されます。このイベントは4年前から大会と併催されており、学会における研究部会等主催の講演会やシンポジウムなどが行われます。加えて本大会では、姿勢や歩行のバイオメカニクス、脳機能および循環器、自律神経機能に関する研究者による特別講演とシンポジウムを企画しております。

本大会初日の6月15日（土曜日）には、特別講演Ⅰとして、東京大学の荻原直道先生をお招きして「ヒト直立二足歩行の生理・進化人類学の新展開」というタイトルで、また最終日の6月16日（日曜日）には、特別講演Ⅱとして東京都立大学名誉教授の菊池吉晃先生をお招きして「身体の囁きが『声』になる瞬間（とき）—適応脳のメカニズム—」というタイトルでご講演いただきます。また、両日とも特別講演のテーマに関連する研究者をそれぞれ3名ずつお招きして、シンポジウムⅠ・Ⅱを開催いたします。二足歩行によるヒト特有の重力応答メカニズムは、身体の形態的特徴としての姿勢や動作制御のみならず、自律神経システムや循環応答制御においてもヒト特有の制御メカニズムを構築していると考えられます。近年、ヒトの意思決定の背景にある身体の内的状態を表す「内受容」についても、二足によるヒト特有の身体の形態的特徴が影響している可能性が考えられます。本大会の二日間を通じて、ヒトの身体と脳の関係について新たな視点が得られることを期待しております。

また今大会では、一般口演17演題、ポスター発表52演題と多くの演題をご発表いただく予定です。幅広い分野の専門家による、フランクかつオープンな議論が繰り広げられるポスターセッションや口述発表は、本学会の大きな魅力の一つです。それに加えて、本大会1日目（6月15日土曜日）には懇親会も開催いたします。第84回大会に続き、对面での活発な議論や交流が行われることで、本大会が皆様にとって新しい発見と出会いの場になることを期待しております。

スタッフ一同、会場にて皆様にお会いできます事を、心より楽しみにしております。

【お知らせ】

会 期：2024年6月14日(金)・15日(土)・16日(日)

会 場：6月14日(金) [日本橋ライフサイエンスビルディング](#) (東京都中央区日本橋本町2-3-11)

6月15日(土)・16日(日) [杏林大学 井の頭キャンパス](#) (三鷹市下連雀5-4-1)

大会参加費：

| | 早期支払 (～5/17) | 通常支払 (～6/7) |
|-------------------|-----------------|----------------|
| 正会員 | 0円 | 0円 |
| 非会員 (学生の身分を有しない方) | 9,000円 | 10,000円 |
| 学生会員 | 0円 | 0円 |
| 学生非会員 | 1,000円 | 1,000円 |

参加登録に関する注意事項：

- ・参加登録の前に参加費のお支払いが必要です。また、振込手数料をご負担ください。
- ・大会当日の参加登録および参加費のお支払いは受け付けられません。

フロンティアミーティング (FM) について：

- ・フロンティアミーティングの発表概要の掲載はありません。
- ・大会へ参加される方は、FM への参加登録が済んでいるとみなしております。

概要集：

- ・今大会では概要集の冊子版は作成せず、電子版 (PDFファイル) のみとします。
- ・本大会概要集に掲載された概要の著作権は、発表者に帰属します。

昼食：

- ・お弁当のご予約をされた方は、各日の受け渡し時に1,000円をお支払いいただきます。
- ・お支払いは現金でお願いいたします。

懇親会：

- ・日時：6月15日 (土) 17:50～
- ・会場：杏林大学井の頭キャンパス F棟1階 食堂
- ・参加費：
会員:4,000円 非会員:5,000円 学生:1,000円
- ・事前申し込みのみの受付となります。会場内へは必ず参加証をつけてご入場ください。

一般口演の発表および座長の要領：

- ・発表7分、質疑応答4分です。6分で1鈴、7分で2鈴、11分で3鈴を鳴らします。発表は時間厳守にてお願いいたします。
- ・大会事務局が準備するPCを使ってご発表ください。Windows（OS:Windows 11）のPCにPower Point 2021をインストールしています。発表されるセッションの開始15分前までに発表用ファイルをUSBメモリに入れて受付にお持ちください。受付にてファイルのコピーを済ませ、内容を確認してください。
- ・ファイル受付は6月15日（大会1日目）、16日（大会2日目）ともに8:30から開始します。ファイル名にはセッション番号と発表順番を記載下さい。例）O1-01 跡見_杏林大
- ・発表スライド内に利益相反について明記いただくようお願いいたします。

~~~~~

### ※利益相反がない場合

『（例）本発表に関して、開示すべき利益相反はない。』

### ※利益相反がある場合

『（例）本研究を実施するにあたり、〇〇〇〇（著者名）が〇〇〇〇（企業名）から研究費を受けた。』

『（例）〇〇〇〇（著者名）は、本研究で使用した〇〇〇〇（製品／アプリケーション名）を開発した〇〇〇〇（企業名）の社外取締役を務めている／従業員である。』

『（例）本研究は、〇〇〇〇（企業名）が開発した〇〇〇〇（製品／アプリケーション名）の無償貸与／無償提供を受けて実施した。』

~~~~~

ポスターの発表要領：

- ・発表者はフラッシュトークとポスター前討論の両方に出席してください。

<フラッシュトーク>

- ・メイン会場（F309）にて研究内容を1分間で説明していただきます。発表を開始して1分経過したら自動で次の発表者のスライドに切り替わるフラッシュプレゼンテーション方式で実施します。
- ・パワーポイント等で横スライドにて作成し、PDFに変換し締め切りまでにお送りください。ファイル名の先頭には、採択されたポスター番号を付加願います。（例）P1-01 跡見_杏林大
- ・フラッシュトーク用PDFの提出〆切は6月7日（金）です。
- ・提出先 jspa85@jspa.net

<ポスター前討論>

- ・下記の時間中はポスターの前に待機し、質疑応答を行ってください。
- ・6月15日（大会1日目）ポスター番号 P1-XX（フラッシュトーク終了後～17：40）
6月16日（大会2日目）ポスター番号 P2-XX（フラッシュトーク終了後～17：10）
- ・ポスターはA0判の大きさ（横841×縦1189mm）を目安に作成し、所定の場所に掲示してください。横幅900mm×高さ1800mmの貼付パネルと、ポスターを貼り付けるための画鋲類を大会事務局が準備します。
- ・ポスターはP1とP2を交互に掲示します（P1-01, P2-01, P1-02, P2-02...）。
- ・全てのポスター発表者は、以下の時間帯にポスターの掲示と回収をしてください。張り替えはありません。

- ・ポスター掲示：6月15日8：30以降掲示可能
- ・ポスター回収：6月16日（大会最終日）17:10～17:30 ※これ以降に掲示されたままのポスターは事務局で処分します。
- ・利益相反について、ポスター内に明記いただくようお願いします（記載例は一般口演の発表要領を参照してください）。

特別講演およびシンポジウム発表者の皆様へ：

- ・大会事務局が準備する PC は Windows（OS:Windows11）で、Power Point 2021 が使用可能です。この PC を使用される場合は、発表されるセッションの開始 15 分前までに発表用ファイルを USB メモリに入れて受付にお持ちください。受付にてファイルのコピーを済ませ、内容を確認してください。
- ・ご自身の PC を使った発表も可能です。その場合は、演台上で直接接続をしてください。アナログ式の VGA（D-Sub15 ピン）とデジタル式の HDMI での接続が可能ですが、それ以外のコネクタが必要な場合はご持参ください。シンポジウム前の休憩時間などを利用して、動作確認をお済ませください。

【本大会 会場】

【会場までのアクセス】

- ・JR 吉祥寺駅 南口（公園口）バス乗り場より小田急バス乗車、「杏林大学井の頭キャンパス」または「新川」下車
- ・JR三鷹駅 南口バス乗り場より小田急バス 杏林大学井の頭キャンパス行 乗車

吉祥寺

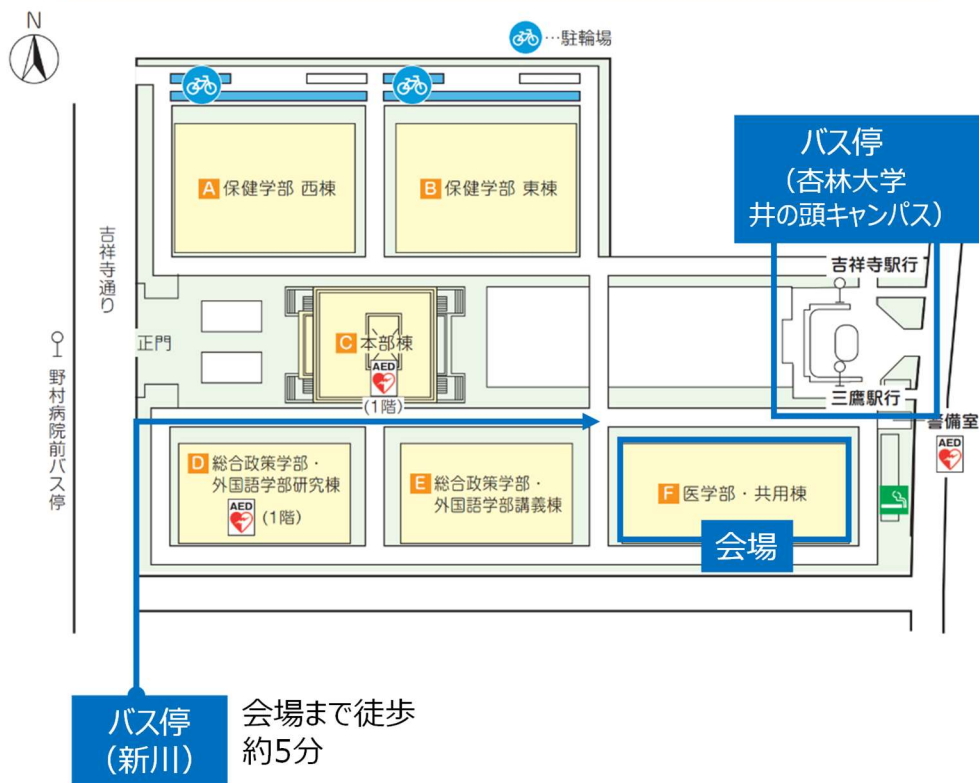
三鷹

| | |
|---------------|--|
| バス乗り場 (5番) | ・杏林大学井の頭キャンパス行 (約15分) |
| バス乗り場 (2番) | ・千歳烏山駅北口行<新川経由> 「新川」下車 (約9分) |
| バス乗り場 (3番) | ・大沢行 「新川」下車 (約9分) ・武蔵境駅南口行<大沢経由> 「新川」下車 (約9分) |
| バス乗り場 (4番) | ・調布駅北口行<神代植物公園前経由>「新川」下車 (約9分) |
| バス乗り場 (6番) | ・深大寺行 「新川」下車 (約9分) ・野ヶ谷行 「新川」下車 (約9分) ・調布駅北口行<野ヶ谷経由> 「新川」下車 (約9分) |

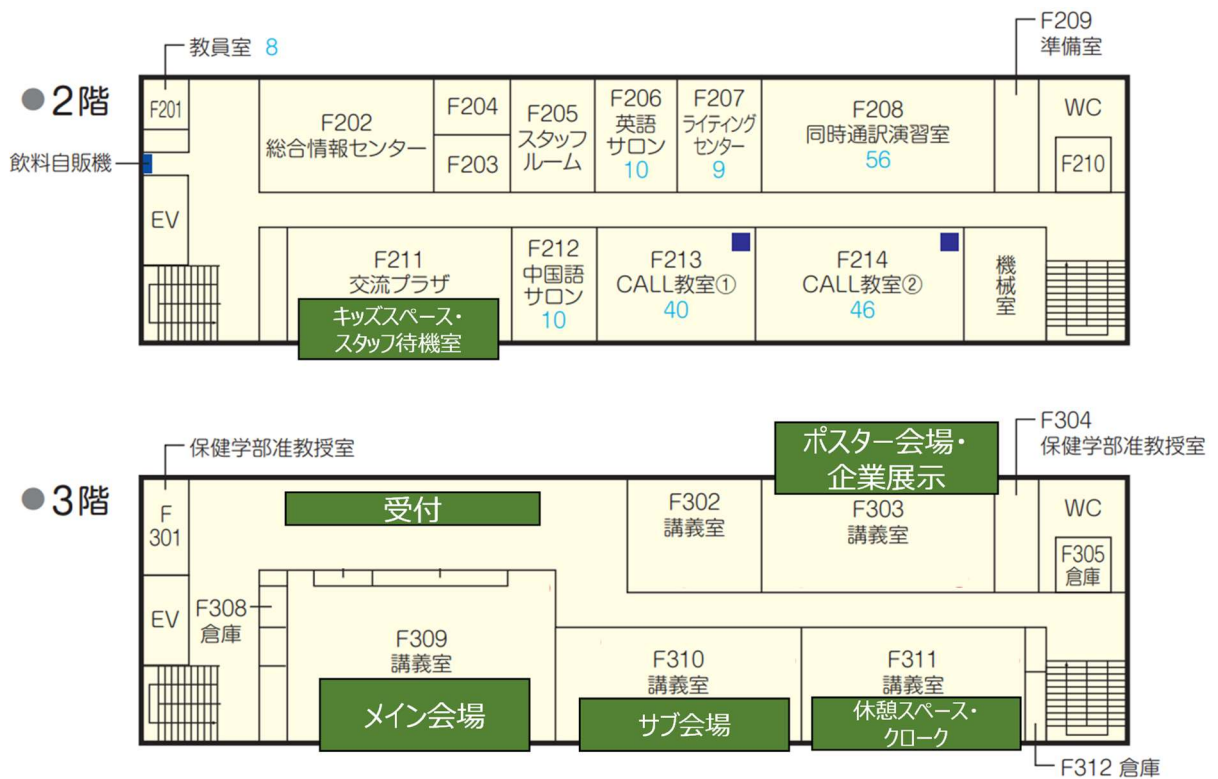
| | |
|---------------|--------------------------|
| バス乗り場 (8番) | ・杏林大学井の頭キャンパス行 (約15分) |
|---------------|--------------------------|



【キャンパス内マップ】



【会場内マップ】



- ・サブ会場でもメイン会場での発表をご視聴いただけます。
- ・会場では大学のゲストWi-Fiをご利用いただけます。会場に情報を掲示いたしますので、ご確認の上ご利用ください。
- ・育児世代支援のために、キッズスペースとしてF棟2階 F211を開放しておりますのでご利用ください。

【大会日程】

6月14日（金）

日本生理人類学会第85回大会 フロンティアミーティング

会場：[日本橋ライフサイエンスビルディング](#)（東京都中央区日本橋本町2-3-11）9階912, 913会議室

| | |
|-------------|---|
| 13:00～ | 開場・受付開始 |
| 13:30～15:30 | FM1 ゲノム研究部会 シンポジウム「ヒト」を俯瞰する — 古代人とメダカのゲノム解析から見る 講演1:「他種とのゲノム比較から見るヒトの進化」 安河内彦輝（関西医科大学） 講演2:「縄文人における正の自然選択」 渡部裕介（東京大学） 講演3:「メダカ地域集団の進化史を用いてヒト表現型多様性の進化的理解を目指す」 勝村啓史（北里大学） |
| 15:45～16:45 | FM2 データサイエンス研究部会・研究担当理事 データ共有セミナーシリーズ-研究倫理編- 「データを共有する際の研究倫理のポイント」 講演者：有江文栄（国立精神・神経医療研究センター） |
| 17:00～18:00 | FM3 若手の会 第38回若手研究者講演会「多岐多端な身体反応」 司会：志村恵（東京都立産業技術研究センター） 講演1「睡眠中の嗅覚刺激による夢および身体反応への効果」 岡部聡美（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻・日本学術振興会特別研究員PD） 講演2「身体と健康 ～これまでの研究を振り返って～」 國枝泰希（東京工科大学医療保健学部臨床検査学科・助教） |

※フロンティアミーティングの発表概要の掲載はありません

6月15日(土)

日本生理人類学会第85回大会 本大会1日目

会場：[杏林大学 井の頭キャンパス](#) (三鷹市下連雀5-4-1)

| | | |
|-------------|---|--------------|
| 8:30~ | 受付開始 | |
| 9:25~9:30 | 開会 | |
| 9:30~10:42 | 口演セッション1 座長：安河内彦輝 (関西医科大学) | F309 |
| 10:55~11:55 | 口演セッション2 座長：大下和茂 (岡山県立大学) | F309 |
| 11:55~13:00 | 昼休み | |
| 13:00~14:00 | 特別講演 I 荻原直道 (東京大学 教授) 「ヒト直立二足歩行の生理・進化人類学の新展開」 司会：樋口重和 (九州大学) | F309 |
| 14:10~15:50 | シンポジウム I 「直立二足の姿勢・歩行制御における体幹・下肢機能」 ・「歩行時に生じる捻じれストレスと下肢関節の役割」 大川孝浩 (文京学院大学) ・「直立二足歩行における下肢関節群協調制御に影響を及ぼす因子」 安陪大治郎 (九州産業大学) ・「立位姿勢における冗長構造を有する体幹の制御」 田中和哉 (帝京科学大学) 座長：跡見友章 (杏林大学) | F309 |
| 16:00~17:40 | ポスターセッション1 フラッシュトーク (16:00~16:35) 座長：西村英伍 (九州大学)、林小百合 (筑波大学) 自由討論 (16:35~17:40) | F309 F303 |
| 17:50~19:50 | 懇親会 | F棟1階 食堂 |

※ F310 (サブ会場) でも、F309の発表をご視聴いただけます

6月16日(日)

日本生理人類学会第85回大会 本大会2日目

会場：[杏林大学 井の頭キャンパス](#) (三鷹市下連雀5-4-1)

| | | |
|-------------|--|--------------|
| 8:30~ | 受付開始 | |
| 9:40~11:20 | シンポジウムⅡ 「内受容から考える身体と脳」 ・「感情と内受容感覚の多面的な関係性」 寺澤悠理 (慶應義塾大学) ・「重力に対する循環応答に関する自律神経制御」 柴田茂貴 (杏林大学) ・「内受容(感覚)と情動：心拍誘発電位と自律神経系指標測定によるアプローチ」 元村祐貴 (九州大学) 座長：石橋圭太 (千葉大学) | F309 |
| 11:25~12:10 | 学会各賞授賞式 | F309 |
| 12:10~13:00 | 昼休み | |
| 13:00~14:00 | 特別講演Ⅱ 菊池吉晃 (東京都立大学 名誉教授) 「身体の囁きが「声」になる瞬間(とき) — 適応脳のメカニズム —」 司会：跡見友章 (杏林大学) | F309 |
| 14:10~15:22 | 口演セッション3 座長：湯田恵美 (東北大学) | F309 |
| 15:27~15:30 | 大会長挨拶 | |
| 15:30~17:10 | ポスターセッション2 フラッシュトーク (15:30~16:05) 座長：西村悠貴 (労働安全衛生総合研究所)、岡部聡美 (東京大学) 自由討論 (16:05~17:10) | F309 F303 |

※ F310 (サブ会場) でも、F309の発表をご視聴いただけます

【プログラム】

本大会 1 日目 6 月 15 日 (土)

開会 9:25

口演セッション 1

9:30-10:42

F309

座長 安河内彦輝 (関西医科大学)

O1-01 GDF-15 の影響を考慮した就寝前間食と動脈硬化の関係

清水悠路^{*1,2}, 有馬和彦^{*1}, 野口優子^{*1}, 佐々木なぎさ^{*2}, 山梨啓友^{*1}, 川尻真也^{*1}, 林田直美^{*1}, 前田隆浩^{*1}
^{*1} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科, ^{*2} 大阪健康安全基盤研究所

O1-02 高齢患者の末梢静脈留置針挿入部位における温罨法の安全性と静脈拡張効果

安田佳永^{*1,2}, 穴戸穂^{*1}, 松野千代美^{*3}, 矢野理香^{*1}
^{*1} 北海道大学大学院保健科学研究院, ^{*2} 北海道大学創成研究機構, ^{*3} 札幌市立大学看護学部

O1-03 特定健診におけるテロメア長を用いた健康リスク因子の探索

有馬弘晃^{*1}, 猪股晋作^{*1}, 河内宣之^{*1,2}
^{*1} 長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野, ^{*2} 国立国際医療研究センター国際医療協力局

O1-04 反復低圧低酸素曝露によって起こる遺伝子発現変動と生理的变化

林瑞生^{*1}, 西村貴孝^{*2}, 本井碧^{*2}, 中山一大^{*3}, 有馬弘晃^{*4}, 太田博樹^{*5}, 小川元之^{*1,6}, 前田享史^{*2}, 勝村啓史^{*1,6}
^{*1} 北里大学 大学院医療系研究科 医科学専攻, ^{*2} 九州大学 大学院芸術工学研究院 人間生活デザイン部門, ^{*3} 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻, ^{*4} 長崎大学 熱帯医学研究所 環境医学部門 国際保健学分野, ^{*5} 東京大学 理学系研究科 生物科学専攻, ^{*6} 北里大学 医学部

O1-05 用量依存的反応からみた光によるメラトニン抑制の民族差に関する研究

中澤勇介^{*1}, 今泉一輝^{*1}, 許諾^{*2}, 徳永恭平^{*1}, 大橋路弘^{*2}, 江藤太亮^{*3}, 早川敏之^{*4}, 樋口重和^{*5}
^{*1} 九州大学大学院 芸術工学府, ^{*2} 九州大学大学院 統合新領域学府, ^{*3} 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所, ^{*4} 九州大学 基幹教育院, ^{*5} 九州大学大学院 芸術工学研究院

O1-06 防護服着用による温熱負荷の評価と WBGT 補正值 CAV の推定

薩本弥生^{*1}, 傳法谷郁乃^{*2}, 田村沙織^{*1}, 大矢幸江^{*3}, 齊藤宏之^{*4}
^{*1} 横浜国立大学教育学部, ^{*2} 実践女子大学家政学部, ^{*3} 昭和学院短期大学, ^{*4} 労働安全衛生総合研究所

口演セッション 2

10:55-11:55

F309

座長 大下和茂 (岡山県立大学)

O2-01 下肢への触覚付加による運動学習への影響

細野裕希^{*1}, 漆原良^{*2}
^{*1} 京都先端科学大学健康医療学部, ^{*2} 立命館大学産業社会学部

O2-02 低酸素環境での繰り返しスプリント運動時の生理応答とパフォーマンスの個人差

竹井尚也^{*1,2}, 邑木隆二^{*3}, 八田秀雄^{*2}

*1 日本女子体育大学 附属基礎体力研究所, *2 東京大学 大学院総合文化研究科, *3 駿河台大学 スポーツ科学部

O2-03 道具使用が利き手・非利き手の力・時間指標、主観的評価および筋活動に及ぼす影響

青木朋子*1

*1 熊本県立大学共通教育センター

O2-04 歩行時の歩隔と速度が頭部・体幹部の Margin of Stability とその変動性に及ぼす影響

高田勇*1, 跡見友章*2, 八木崇行*3, 山本庄真*4, 富田昌夫*5, 清水美穂*6, 跡見順子*6

*1 金沢大学附属病院 リハビリテーション部, *2 杏林大学 保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻, *3 医療法人社団アールアンドオー 静清リハビリテーション病院, *4 医療法人鉄友会 宇野病院 リハビリテーション部, *5 びわこリハビリテーション専門職大学, *6 帝京大学 先端総合研究機構オープンイノベーション部門

O2-05 姿勢歩行障害に対する前庭覚代行デバイスを用いる新規治療

山中敏彰*1, 大山寛毅*1, 岩元秀輔*1, 大平乃理子*1, 佐藤満雄*1, 安松隆治*1

*1 近畿大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学

特別講演 I

13:00-14:00

F309

司会 樋口重和 (九州大学)

ヒト直立二足歩行の生理・進化人類学の新展開

荻原直道 (東京大学)

シンポジウム I

14:10-15:50

F309

座長 跡見友章 (杏林大学)

「直立二足の姿勢・歩行制御における体幹・下肢機能」

S1-01 大川孝浩 (文京学院大学)

歩行時に生じる捻じれストレスと下肢関節の役割

S1-02 安陪大治郎 (九州産業大学)

直立二足歩行における下肢関節群協調制御に影響を及ぼす因子

S1-03 田中和哉 (帝京科学大学)

立位姿勢における冗長構造を有する体幹の制御

ポスターセッション 1

16:00-17:40

F303

座長 西村英伍 (九州大学) / 林小百合 (筑波大学)

フラッシュトーク 16:00~16:35 会場: F309

ポスター前討論 16:35~17:40

- P1-01 喘息既往歴を有する小学校高学年の児童のピークフロー値と体育に係る心理的状況の関係性についての一考察
高木祐介*1, 鈴木一宏*2, 具志堅武*3, 永田康喜*4, 重田唯子*5, 小林正利*2
*1 公立小松大学 保健医療学部, *2 日本体育大学 体育学部, *3 神奈川大学 人間科学部 (非常勤講師), *4 国立国際医療研究センター 疫学・予防研究部, *5 湘南学園小学校
- P1-02 女子大学生の過去および現在の運動習慣とクロノタイプとの関係
大下和茂*1, 石原勇次郎*2, 清家空併*3, 名頭菌亮太*3
*1 岡山県立大学 情報工学部, *2 岡山理科大学 基盤教育センター, *3 九州共立大学 スポーツ学部
- P1-03 ASD リスクを持つ幼児に「デジタルおもちゃ」にて早期療育を試みた一例
太田英伸*1, 樋口重和*2, 高橋恵一*1, 申巒敬*4, 宮寺伸明*5
*1 秋田大学大学院 医学系研究科 作業療法学講座, *2 九州大学大学院 芸術工学研究院 人間生活デザイン部門, *3 九州大学大学院 統合新領域学府 ユーザー感性学専攻, *4 株式会社 ORSO サービスプロダクト事業開発本部/北海道大学 COI-NEXT
- P1-04 ヒトの体軸を支える神経-筋のストレス応答タンパク質による適応細胞メカニズム
跡見順子*1, 堀ノ内慎哉*2, 清水美穂*1, 藤田恵理*3, 跡見綾*2, 井上大介*2
*1 帝京大学先端総合研究機構寄付講座, *2 東京農工大学工学府応用化学専攻渡辺研究室, *3 帝京大学医療技術学部
- P1-05 長時間運転中の注意資源と休憩の取り方の関連
西村悠貴*1, 池田大樹*1, 松元俊*1, 久保智英*1, 劉欣欣*1
*1 独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター
- P1-06 異なるタオル素材の清拭が心臓疾患を有する高齢患者の皮膚バリア機能に及ぼす影響
宍戸穂*1, 矢野理香*1
*1 北海道大学大学院保健科学研究院
- P1-07 経皮的耳介迷走神経刺激 (taVNS) が安静時脳機能結合性に与える影響の検討
高村恒人*1,2, 勝沼るり*1, 山田光彦*3,4, 関口敦*1
*1 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部, *2 国立研究開発法人国立成育医療研究センター 戦略的研究部門医用深層学習研究室, *3 東京家政学院大学 人間栄養学部 病態生理学研究室, *4 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部
- P1-08 血圧の測定方法に関する研究
山崎和彦*1, 村越あいり*1, 高橋佐智子*1, 前田亜紀子*2
*1 実践女子大学生生活科学部 *2 共立女子大学家政学部
- P1-09 高血圧症患者への生活指導による患者の笑顔と自己管理行動との関係
坪田恵子*1, 小池勤*1, 山田恵子*1, 堀悦郎*1
*1 富山大学学術研究部医学系
- P1-10 入浴が月経前症候群に及ぼす影響に関する基礎的研究
三浦凜風*1, 曾我浩二*2, 本井碧*3, 中林暉裕*2, 松尾沙也加*1, 伊藤貴士*2, 西村貴孝*3
*1 九州大学大学院芸術工学府, *2 リンナイ株式会社開発本部, *3 九州大学大学院芸術工学研究院

- P1-11 お辞儀が他人種の主観的魅力に及ぼす影響
大杉尚之*1, 河原純一郎*2
*1 山形大学人文社会科学部, *2 北海道大学文学部
- P1-12 視聴覚刺激の低減とデザイン経験の違いが創造性に与える影響
平沢洸*1, 澤井賢一*2, 松前あかね*2, 藤智亮*2, 樋口重和*2
*1 九州大学大学院 芸術工学府, *2 九州大学大学院 芸術工学研究院
- P1-13 画面中央に学習情報を表示した場合の画面周囲への反応と負担に関する検討
本多薫*1, 門間政亮*2
*1 山形大学人文社会科学部, *2 宇部フロンティア大学短期大学部
- P1-14 内因性光感受性網膜神経節細胞 (ipRGC) への漸減刺激が唾液メラトニンに及ぼす影響とその個人差に関する検討
初治沙矢香*1, 石黒脩史*2, 高峰詩由*1, 桐原弘*3, 森田健*1, 若村智子*1
*1 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, *2 京都大学医学部附属病院 看護部, *3 株式会社エルム
- P1-15 成人の注意欠如多動性障害傾向と光感受性の関連調査
濱もも*1, 今泉一輝*2, 樋口重和*3, 元村祐貴*3
*1 九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻, *2 九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻,
*3 九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-16 夜間歩行時のスマートフォン使用者の視線に街路照明が及ぼす影響
福田裕美*1, 川上そよ香*1
*1 北九州市立大学国際環境工学部
- P1-17 朝の光曝露が概日リズムの位相前進に与える影響：連続光 vs 断続光
森田恵一朗*1, 李カテイ*1, 丹由美子*1, 李スミン*2, 若林斉*3, 李相逸*3
*1 北海道大学大学院工学研究院空間性能システム専攻, *2 千葉大学環境健康フィールド科学センター,
*3 北海道大学大学院工学研究院環境工学部門
- P1-18 照明環境成分が異なる3種類の光刺激が皮脂量・皮膚色に与える影響
高峰詩由*1, 初治沙矢香*1, 古林まひろ*2, 石黒脩史*3, 西川恵美*1, 森田健*1, 桐原弘*4, 若村智子*1
*1 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, *2 京都大学大学院地球環境学舎環境マネジメント専攻,
*3 京都大学医学部附属病院看護部, *4 株式会社エルム
- P1-19 個室型ワークブースの光環境改善：シミュレーションを用いた評価
阿部壯一朗*1, 坂彌竜輔*1, 李カテイ*1, 丹由美子*1, 若林斉*2, 李相逸*2
*1 北海道大学大学院工学研究院空間性能システム専攻, *2 北海道大学大学院工学研究院環境工学部門
- P1-20 簡易型スヌーズレン「キャノピー」における睡眠導入効果の検討
橋本翠*1, 川端翔太*1, 金澤寛*2, 嶺也守寛*3, 小崎幹太*4
*1 吉備国際大学 大学院 心理学研究科, *2 広島文化学園大学 看護学部 看護学科, *3 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科, *4 株式会社 フィルノット
- P1-21 体育会系部活動と大学生の生活リズム・睡眠衛生の関連
竹内日登美*1, 浅沼伸多*1
*1 高知大学教育学部

- P1-22 微小な気圧の変化がヒトの生理反応に及ぼす影響
松尾沙也加*1, 河野陽介*1, 三浦凜風*1, 名倉堯哉*2, 前田享史*3, 西村貴孝*3
*1 九州大学大学院芸術工学府, *2 九州大学芸術工学部, *3 九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-23 局所冷刺激が起立性循環調節反応に及ぼす影響
堀田駿*1, 藤原新*1, 瀧亮太*1, 遠藤麻琴*1, 堀内扇流*1, 矢野智志*1, 石橋駿*2, 河野陽介*2,
Keneth SEDILLA*3, 西村貴孝*3, 前田享史*3
*1 九州大学芸術工学部, *2 九州大学大学院芸術工学府, *3 九州大学大学院芸術工学研究院
- P1-24 世界的身長分布における経度と多様性との関係構図
可兒勇樹*1, 藤井勝紀*2, 武山祐樹*2
*1 大阪成蹊大学, *2 愛知工業大学
- P1-25 ドップラセンサを用いた心動作のモデリングによる RR 間隔の推定
太田隆*1, 大草孝介*2
*1 中央大学大学院理工学研究科, *2 中央大学理工学部
- P1-26 ヒトの爪に含まれる 6 種類のホルモンの定量分析手法
大庭亜未*1, 佐藤花純*1, 野村収作*1
*1 長岡技術科学大学 工学専攻情報・経営システム工学分野

懇親会

17:50-19:50

F 棟 1F 食堂

本大会 2 日目 6 月 16 日 (日)

シンポジウムⅡ 9:40-11:20 F309

座長 石橋圭太 (千葉大学)

「内受容から考える身体と脳」

S2-01 寺澤悠理 (慶應義塾大学)

感情と内受容感覚の多面的な関係性

S2-02 柴田茂貴 (杏林大学)

重力に対する循環応答に関する自律神経制御

S2-03 元村祐貴 (九州大学)

内受容(感覚)と情動：心拍誘発電位と自律神経系指標測定によるアプローチ

学会各賞表彰式 11:25-12:10 F309

11:25～12:10

特別講演Ⅱ 13:00-14:00 F309

司会 跡見友章 (杏林大学)

身体の囁きが「声」になる瞬間 (とき) - 適応脳のメカニズム -

菊池吉晃 (東京都立大学)

口演セッション 3 14:10-15:22 F309

座長 湯田恵美 (東北大学)

O3-01 情動言語刺激がワーキングメモリに及ぼす影響

花田英瞳^{*1}, 柏原考爾^{*1}

^{*1} 立命館大学情報理工学部生体情報工学研究室

O3-02 機械学習技術を用いた行動と表情変化の観察手法

西村英伍^{*1}, 英真次^{*2}, 曾我浩二^{*2}

^{*1} 九州大学大学院芸術工学研究院, ^{*2} リンナイ株式会社

O3-03 摂食障害患者における Resting State fMRI: 質問紙得点に着目した解析

吉松拓也^{*1}, 高村恒人^{*2}, 守口善也^{*2}, 佐藤康弘^{*3}, 福土審^{*3}, 平野好幸^{*4}, 須藤佑輔^{*4}, 磯部昌憲^{*5}, 野田智美^{*5}, 兒玉直樹^{*6}, 高橋昌稔^{*6}, 岡田和将^{*6}, 吉原一文^{*7}, 権藤元治^{*7}, 高倉修^{*7}, 関口敦^{*2}, 元村祐貴^{*8}

*1 九州大学大学院統合新領域学府, *2 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部, *3 東北大学病院 心療内科, *4 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター, *5 京都大学大学院医学研究科, *6 産業医科大学病院 脳神経内科・心療内科, *7 九州大学大学院医学研究院 心身医学, *8 九州大学大学院芸術工学研究院 人間生活デザイン部門

O3-04 こめ油の摂取による認知機能及び血中脂質への影響

加藤守匡*1, 山賀麻由*1

*1 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部

O3-05 VR 環境下における落下感に関する心理生理学的研究

劉一萌*1, 高雄元晴*2

*1 東海大学工学研究科電気電子工学専攻, *2 東海大学情報理工学部情報科学科

O3-06 日没映像の呈示がヒトの時間認知に与える影響

Effects of displaying Sunset Footage on Human Time Perception

丹由美子*1, 李佳婷*1, 坂彌竜輔*1, 李スミン*3, 若林斉*2, 李相逸*2

*1 北海道大学大学院工学院空間性能システム専攻, *2 千葉大学環境健康フィールド科学センター, *3 北海道大学大学院工学研究院環境工学部門

ポスターセッション 2

15:30-17:10

F303

座長 西村悠貴 (労働安全衛生総合研究所) / 岡部聡美 (東京大学)

フラッシュトーク 15:30~16:05 会場 : F309

ポスター前討論 16:05~17:10

P2-01 Wingate Test からみたペダリングアシストツール (PAT) の効果と課題

山口理生*1, 杉山康司*2

*1 静岡大学大学院人文社会科学部研究科臨床人間科学専攻, *2 静岡大学グローバル共創科学部

P2-02 e スポーツゲーム中級者の上半身における筋持久力がゲームプレイに与える影響

濱上聖也*1, 西村貴孝*2, Loh Ping Yeap*2

*1 九州大学大学院芸術工学府, *2 九州大学大学院芸術工学研究院

P2-03 車椅子座位におけるバックサポートの違いが頭部の制御に与える影響

八木崇行*1, 新美文梧*1, 高田勇*2, 宮本一巧*3, 串田英之*1, 串田雄一郎*1, 富田昌夫*4

*1 医療法人社団アールアンドオー 静清リハビリテーション病院, *2 金沢大学附属病院リハビリテーション部, *3 独立行政法人地域医療機能推進機構りつりん病院, *4 びわこリハビリテーション専門職大学

P2-04 VR を用いた一過性運動が心理的・生理的機能に及ぼす影響

相原圭太*1, 石井博之*1

*1 杏林大学保健学部

P2-05 運転中の心血管系反応に対する異なる休憩パターンの影響

劉欣欣*1, 池田大樹*1, 西村悠貴*1, 松元俊*1, 久保智英*1

*1 (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

P2-06 20 代男女における皮膚障害に関する調査

前田亜紀子*1, 高橋佐智子*2, 正岡瑠夏*1, 出口亜里沙*1

*1 共立女子大学家政学部, *2 実践女子大学生活科学部

P2-07 経皮的耳介迷走神経刺激 (taVNS) による内受容感覚への影響

勝沼るり*1,2 高村恒人*1,3 山田光彦*2,4 関口敦*1

*1 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター, 精神保健研究所 行動医学研究部, *2 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部, *3 国立研究開発法人国立成育医療研究センター 戦略的研究部門 医用深層学習研究室, *4 東京家政学院大学 人間栄養学部 病態生理学研究室

P2-08 人工膝関節全置換術後の遷延性術後痛に関連する要因の検討

星野真之介*1, 池田悠稀*2, 跡見友章*2

*1 世田谷人工関節・脊椎クリニック, *2 杏林大学保健学部理学療法学科

P2-09 正弦波下半身陰圧負荷が事象関連電位に及ぼす影響

石橋圭太*1

*1 千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート

P2-10 事象関連電位とキャラクターの可愛さ

飯田龍*1, 下村義弘*2

*1 千葉大学融合理工学府創成工学専攻 人間生活工学研究室, *2 千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート

P2-11 D (デジタル) セラピーコンテンツ観察時の脳活動に関する研究

吉岡潤哉*1, 申鬱敬*2, 太田英伸*3, 宮寺伸明*4, 樋口重和*5

*1 九州大学大学院芸術工学府, *2 九州大学大学院統合新領域学府, *3 秋田大学大学院医学系研究科, *4 株式会社 ORSO サービスプロダクト事業開発本部, *5 九州大学大学院芸術工学研究院

P2-12 定型発達小児における時間知覚課題の認知的共通点の検討

江頭優佳*1, 林小百合*1,2, 魚野翔太*1,2, 高田美希*1,3, 請園正敏*1,4, 箱島有輝*5, 宇佐美政英*5, 岡田俊*1,6

*1 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部, *2 筑波大学人間系, *3 千葉大学大学院医学府, *4 人間環境大学総合環境学部, *5 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科, *6 奈良県立医科大学精神医学講座

P2-13 個室ブースにおけるにおいがヒトの生理指標に与える影響

大谷安央衣*1, 山田篤*1, 吉田豊*2, 湯田恵美*2

*1 富士工業株式会社, *2 東北大学大学院情報科学研究科

P2-14 イヤホン型耳内脳波計を用いた入眠検知アルゴリズムの構築に関する予備的研究

柳井悠人*1, 堤崇志*2, 吉松拓也*1, 茨木拓也*3, 元村祐貴*4

*1 九州大学統合新領域学府, *2 九州大学芸術工学部, *3 株式会社 Viestyle, 株式会社 NTT データ経営研究所, *4 九州大学大学院芸術工学研究院人間生活デザイン部門

P2-15 内因性光感受性網膜神経節細胞のフリッカー光に対する光応答特性に関する研究

添田悠介*1, 堀田淳弘*1, 坂耀介*2, 小崎智照*3, 高雄元晴*2

*1 東海大学大学院工学研究科, *2 東海大学情報理工学部, *3 福岡女子大学国際文理学部

P2-16 メラノプシン網膜神経節細胞への刺激量の違いが定常瞳孔反応に与える影響
-異なる照度、色温度の照明光を用いた検討-

今泉一輝^{*1}, 中澤勇介^{*1}, 許諾^{*2}, 江藤太亮^{*3}, 辻村誠一^{*4}, 樋口重和^{*5}

^{*1} 九州大学大学院 芸術工学府, ^{*2} 九州大学大学院 統合新領域学府, ^{*3} 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所, ^{*4} 名古屋市立大学 芸術工学研究科, ^{*5} 九州大学大学院 芸術工学研究院

P2-17 光刺激中の縮瞳が持続的瞳孔反応に及ぼす影響：Maxwellian view 光学系を用いた検討

江藤太亮^{*1,2}, 北村真吾^{*1}

^{*1} 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部, ^{*2} 日本学術振興会特別研究員 PD

P2-18 視覚誘発電位を用いたまぶしさに対する個人特性の評価

水野嶺^{*1}, 小崎瑞貴^{*1}, 鈴木雅也^{*1}

^{*1} 東海光学株式会社 脳科学推進室

P2-19 就寝前の電子機器使用制限の効果と個人特性の関連

吉村道孝^{*1}, 北沢桃子^{*2}, 志賀希子^{*3}, 江藤太亮^{*4}, 北村真吾^{*4}

^{*1} 愛知東邦大学人間健康学部, ^{*2} 慶應義塾大学医学部, ^{*3} 志學館大学人間関係学部, ^{*4} 国立精神・神経医療研究センター

P2-20 夕食一消灯インターバルの睡眠への効果に対する食後血糖の関連

國枝泰希^{*1}, 榎本みのり^{*1}, 江藤太亮^{*2,3}, 北村真吾^{*2}

^{*1} 東京工科大学医療保健学部臨床検査学科, ^{*2} 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部, ^{*3} 日本学術振興会特別研究員 PD

P2-21 ヒトのリアルライフにおける直腸温リズムの最低時刻推定方法の比較

石黒脩史^{*1,2}, 石田千咲^{*1,2}, 繁田郁穂^{*1,2}, 長谷川陽菜^{*1}, 初治沙矢香^{*3}, 若村智子^{*3}

^{*1} 元京都大学医学部人間健康科学科, ^{*2} 京都大学医学部附属病院看護部, ^{*3} 京都大学大学院医学研究科

P2-22 乳幼児身体発育標準化チャートのための WIM-LMS 曲線の提唱

早川健太郎^{*1}, 藤井勝紀^{*2}, 田中望^{*3}

^{*1} 名古屋経済大学人間生活科学部, ^{*2} 愛知工業大学, ^{*3} 東海学園大学 スポーツ健康科学部

P2-23 身長の高低差に基づく BMI に対する体脂肪率の関係構図

武山祐樹^{*1}, 藤井勝紀^{*1}, 可兒勇樹^{*2}

^{*1} 愛知工業大学経営学部, ^{*2} 大阪成蹊大学教育学部

P2-24 出生から2歳までの身長発育の国際比較

田中望^{*1}, 藤井勝紀^{*2}, 早川健太郎^{*3}

^{*1} 東海学園大学, ^{*2} 愛知工業大学, ^{*3} 名古屋経済大学

P2-25 足部体積の評価方法について

高橋佐智子^{*1}, 村越あいり^{*1}, 前田亜紀子^{*2}, 山崎和彦^{*1}

^{*1} 実践女子大学生生活科学部, ^{*2} 共立女子大学家政学部

P2-26 赤外線サーモグラフィを使用したヒト褐色脂肪組織活性の評価

石田悠華^{*1}, 中山一大^{*1}

^{*1} 東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻